

第2章 中間育成技術開発

1. 中間育成試験

1) 目的

中間育成上の基礎的な知見の蓄積と問題点を抽出するため、平成6年度に生産した稚貝を用いて中間育成試験を実施した。

2) 材料と方法

平成6年10月24日から平成7年3月20日までの間に殻高5mmに達した稚貝135,850個体を中間育成水槽に収容した。中間育成水槽は水槽内を二重底にした5t角形FRP水槽4面を使用した。ネット上には塩化ビニール製200mmパイプを縦割りし、30cmの長さに切断したシェルターを設置した。餌料には紅藻類のマクリ、モサオゴノリ、イバラノリ及びアワビ用配合餌料を給餌した。

3) 結果及び考察

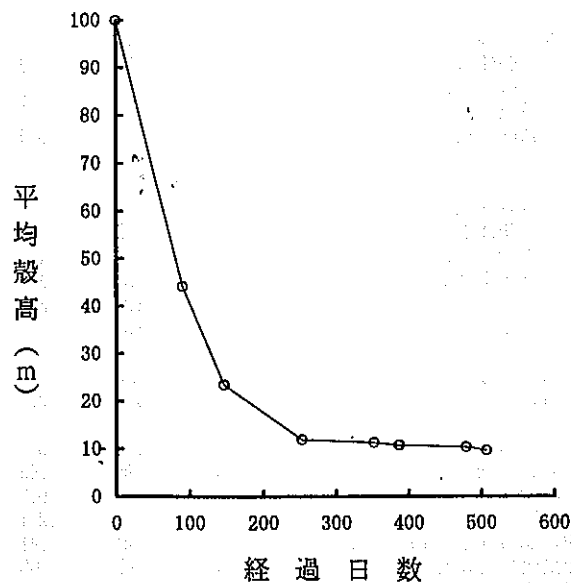
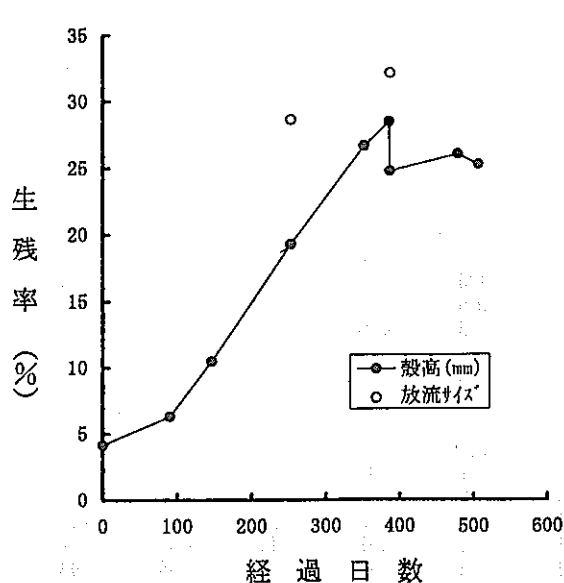
平成6年度生産貝の中間育成状況を表II-1とII-2、中間育成中の成長と生残率の推移を図II-1に示した。収容時に平均殻高4.13mmであった稚貝は91日目に6.32mm、387日目の平成7年11月15日に28.5mmに達した。このうち、25mm以上の個体を川平湾に2,157個、白保沖に5,728個放流した。25mm以下の個体は継続飼育し、平成8年3月14日

表II-1 平成6年生産稚貝の中間育成状況 (I期)

中間育成開始時 (94/10/24)	
平均殻高 (mm)	4.13
収容個体数	135,850
中間育成終了時 (95/11/15)	
飼育日数	386
平均殻高 (mm)	28.5
日間成長量 ($\mu\text{m}/\text{days}$)	63.1
生残個体数	14,617
放流数	7,885
試験用	3,289
継続飼育数	3,443
生残率 (%)	10.8

表II-2 平成6年生産稚貝の中間育成状況 (II期)

中間育成開始時 (95/11/15)	
平均殻高 (mm)	24.8
収容個体数	3,443
中間育成終了時 (96/3/14)	
飼育日数	121
平均殻高 (mm)	25.3
日間成長量 ($\mu\text{m}/\text{days}$)	4.1
生残個体数	1,968
放流数	1,652
試験用	316
生残率 (%)	57.2



図II-1 中間育成時の成長と生残率の推移